Dr. Ned Shimizu の気ままなフォトアルバム 36

TEXAS KANKOU http://www.texaskankou.com/

今ブームのソロキャンを、Charlotte湖で。

完全なバックカントリーキャンプを超手軽に。
ヒューストンから車でたったの1時間未満でまるでアマゾン川探検！

日本では今キャンプ、そしてソロキャンプが空前絶後の大ブーム。写真で見る限り、ちょっとした原っぱみたいな駐車場に、ひしめくようにテントが。しかもそれぞれ趣向を凝らしたおしゃれな演出で、狭い中、まるでマウント合戦。という私も道具をそろえて、ああでもないこうでもないというのは好きだ。しかし色やメーカーまで統一してという気持ちはあまりない。最近はテキサスデザインのYETIも日本でも流行り(お土産にいいですよ)、私が10年前から愛用しているArc'terynxにいたっては日本ではプレミアがついていて、なかなか買えないらしい。ちなみに私の診療ユニフォームにはこのArc'terynxが多数採用されている(笑)。日本からはるばるテキサスに来た私たちは、もっとこの巨大なテキサスの自然に飲み込まれてもいいのでは？バックカントリーのキャンプでは人に会うことはまずないので、マウントはできない。Facebookかインスタに載せる手はあるが(笑)。テキサスは規則もがばがばで果てしなく自由だ。誰でも憧れのスナフキンになれるのだ。とはいえ私も含め異国の地で、キャンプはわからないことが多く怖い。私自身、ここアメリカでソロキャンができるようになったのはここ5年くらいだ。Covidで普通の旅ができなくて、必然に迫られて調べまくったのはおいておこう。今回はその5年以上の情報を惜しみもなく公開することにした。ただし、私は弁護士でなく歯医者なので、すべて自己責任でどうぞ。超具体的にLake Charlotteでの絶景や、バックカントリーキャンプの方法を書いています。書いてある通りにすれば、今までにない経験ができるはずです。道具をそろえるところからなので、あまりにも詳細で、ここにすべて書けるはずもなく、完全版はこちら で読んで下さい。

ここシャロット湖はヒューストンからたったの1時間以下で行け、最近アメリカの自然系カメラマンの間で大ブームになっているテキサスのCaddo Lake並みの絶景が見られて、ほぼ人がいない。さらに普通に週末に行ける。注意点は11月初めからたぶん1月いっぱいは昼12時まで水鳥のハンティングが解禁されていることくらいか。それでも日本のようなことはなく人口密度は低いのであまり心配は無用だ。ここでの活動にはカヤックが必要なのでまでGulf Stream には書かなかった。しかし、最近は空気で膨らますカヤックが安くなり簡単に手に入るようになった。どれも安定しているので、湖や沼のような静水でひっくり返ることはない。また飛行機でも運べるし、帰国時には日本でも楽しめる。軽いし小さいし、車のトランクに積める。何なら自転車でも運べる。さらにはこのカヤックの上に自転車を積んで、バイクカヤッキングというのもできる優れものだ。テントや寝袋も最近は驚くほど小さい、食べ物も特別なものを用意しなくても、日本食店で売っている冷凍ものなどを流用すれば、簡単においしくでき遊びに集中できる。ここ、サルとピラニアがいない以外は、ぱっと見アマゾン川。ワニはアマゾンのものより大きいし、アリゲーターガーや巨大なマングローブのようなサイプレスの木はそもそもアマゾン川にはない。ある意味すごいかも。

9月、金曜の診療後に向かう。逃げ足の速い夕日には、間に合う。湖面が、落ち葉と夕日の反射で金色に輝いている。ワニもお出迎えだ。ワニがわざわざ人を襲うことはないので、落ち着いてください。サイプレスの森をすり抜け、テントを張るドライ・ランドへ。テントを張り、たき火を始める。牛丼を温め、バーボンを飲みつつ本を読む。後は眠くなったらテントに転がり込めばいい。フクロウが鳴き、目の前のバイユでアリゲーターガーが跳ね、ワニの目が光る。ほかに人はいない。家から1時間とはとてもじゃないけど思えない。こんなところがすぐ身近にあるのだヒューストン。翌日、鳥の鳴き声に起こされる。まだ朝7時だ。起きる必要はないが、何となく起きて、たき火に火をつける。朝はカップラーメンと、たき火で焼いたウインナー。たき火をぼーっと見てバーボンと本で、もはや動けなくなりそうだ。何とか荷物をカヤックにつめ、再び漕ぎ出る。ネイティブアメリカンの貝塚でできた、白いビーチに行ってみよう。2年前の2月にはここで一人でキャンプして、サイプレスの写真を撮ったところだ。ここはサイプレスがまばらに生えており、マングローブのような(それよりはるかに巨大だが)気根が、超巨大ニョロニョロの群れの様に見える異様な風景が広がるところだ。今風に言えばインスタ映えだ。ニョロニョロの間をカヤックで進む。すでに自分がどこか異世界に迷い込んでいる感じだ。うまくドローンなどで写真を撮れば、針山をさまようカヤックだ。今度トライしてみよう。

釣りが好きであれば、アリゲーターガーも狙える。友達は初めて来たときに、おもちゃの釣り竿で1m超の巨大コイを釣り上げた。カヤックでもアクセスの難しい幻の湖、トキの群れなど。見どころ満載である。とにかく近いのが便利。ヒューストンにいるのであれば、是非行くべき場所である。詳細は上にあげたリンク まで。地図や持ち物リストも載っています。

気ままなフォトアルバムのバックナンバーはテキサス観光をご覧ください。テキサス観光は新しくなりました！"最新絵日記"も絶えずアップしているので、テキサスの旅行の参考にどうぞ。 (清水直樹)